

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円(初講日に徴収)。
 (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和7年3月3日(月)**(消印有効)

- (2) 申込先

〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田311-1 西武文理大学 学生サービス課(リカレント)
 電話:04-2954-7575 FAX:04-2954-7511 E-mail:kyoumu@bunri-c.ac.jp

- (3) 申込方法

はがき、FAX又はE-mailにて、以下の事項を**もれなく**記入の上、いずれかの方法にてお申し込みください。(記入もれがある場合には、申し込みを受け付けられないことがあります。)

- ①郵便番号、住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③年齢(令和7年4月1日現在)、性別
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目(希望順に記入、何科目でも可)

- (4) 選抜方法

- ・定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。
- ・受講者の決定につきましては、3月下旬にご連絡いたします。

- (5) その他

- ・申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・諸事情により、一部オンライン形式など対面以外の方法による講義に変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

※ 現時点での予定につき、担当教員や一部講義内容が変更になることがあります。

コンシェルジュ論 (富樫 文子)	授業の概要 「接客サービスの最高のプロフェッショナル」と呼ばれるコンシェルジュの歴史・実態を学び、ホテルの枠組みを超えて多種多様な企業・業に配置されている現代日本のホスピタリティ産業の分析をします。
---------------------	---

	<p>科目の位置づけ</p> <p>本学の必須科目である「対人関係基礎・応用演習」を基に、ホスピタリティ産業全般にわたる顧客満足を目的としたコミュニケーションについて考え、その最たるコンシェルジュという職種について考察します。元来ホテル特有のサービスであったコンシェルジュが、今や航空、客船、デパート、電鉄、銀行、不動産、保険などの企業産業に進出している背景を学びます。それは取りも直さず、現代日本の産業に求められているサービスとは何かを考えることに他ならないのです。</p> <p>到達目標</p> <p>「コンシェルジュ」の歴史・背景及び、そのプロフェッショナルリズムを理解する。ホスピタリティ産業全般における顧客満足を目的としたコミュニケーション力の重要性と方法を理解する。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要</p> <p>講義を中心とし、演習（個人ワーク・発表）を行います。また、ゲスト講師（ホテルコンシェルジュ）を招聘（予定）し、コンシェルジュ業務の実態とそのプロフェッショナルリズムを学びます。</p>
<p>中小企業論 (藤野 洋)</p>	<p>授業の概要</p> <p>日本では中小企業が企業数の99%超、従業者数の75%超を占めており、「活力ある多数」として経済の土台を支える重要な役割を担っています。しかし、1990年代半ば以降、開業率が廃業率を下回る状態が続いていることに象徴されるように、中小企業は様々な課題への対応を迫られているため、その活力を十分に発揮しにくい状態にあります。本講義では、第1クールで中小企業の特徴を大企業との比較などによって総論的に論じ、第2クールで中小企業が直面している様々な課題を概観し、さらに、第3クールで諸課題に対処するための政策や制度についても解説します。</p> <p>科目の位置づけ</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門を修得する科目として位置づけられます。経済学、経営学、会社法学の基礎的な理論に企業・支援機関の多くの事例の解説を交えることによって、幅広い視点から「中小企業」に対する理解を深めることを目的とします。皆さんが社会人（会社員、公務員、経営者、士業等）になった時に中小企業と関係・取引を全く持たないことは考えにくいので、円滑な仕事・取引のために知っておいてほしい中小企業の特性を解説します。</p> <p>具体的には、①(地域) 経済の土台となっている多数の多様なプレーヤーとしてのダイナミズム、②中小企業経営者の「独特の経営感覚」と事業を通じた「社会への貢献」に対する信念、③「優れた経営者」の会社では、従業員も若いうちから自分の仕事に誇りを持っていきいきと働いていること、④地域経済の担い手である中小企業の課題とその解決のための支援策の重要性、等について、理解を深めていただきたいと思えます。</p> <p>到達目標</p> <p>(1) 日本における中小企業の歴史的発展と現在の中小企業の位置づけを説明できる。中小企業の全体像を説明できる。 (2) 中小企業を支援する政策の概要と企業活動における資金の働きを理解することにより、実社会における中小企業のキャッシュフローを捉え、説明できる。 (3) 中小企業で働く人のキャリアパスとモチベーションを理解することにより、自己の将来の目的やキャリアアッププランの具体化に寄与できる。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要</p> <p>講義形式で行います。具体的には、多くの事例を基にして、中小企業が直面している様々な環境変化や課題とその解決のための支援策等について解説します。</p>